

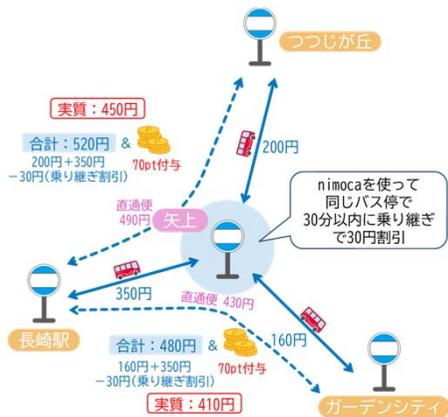
## 事業Ⅱ：再編と併せて実施する公共交通サービスの向上

乗継ぎによる利便性の低下 ▶▶▶ 別の方法で、利便性の確保、サービスの向上を目指します

### 事業Ⅱ-①：ハブ＆スポーク型運行に対応した乗継ぎポイントの導入

- 乗継ぎによる運賃増加分はポイントで還元

ポイント付与サービスのイメージ



### 事業Ⅱ-③：乗継ぎ拠点でのリアルタイムの情報提供

- 乗継ぎバス停に接近情報や遅延情報を提供

バス停での接近情報のデジタルサイネージ事例



出典：(株)両備システムズ

スマートバス停の導入事例(熊本駅)



出典：西鉄エム・テック

### 事業Ⅱ-②：東部地区の拠点と市内中心部を結ぶ路線の一部快速化

- 一部の便を新日見トンネル(奥山)経由の快速便とし、移動時間を短縮

## 実施予定期間

4年間(令和4年度～令和7年度) ※令和4年度10月から事業を実施

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
長崎市地域公共交通計画	[Progress bar from R3 to R7]				
長崎市地域公共交通利便増進実施計画(東部地区)		実施	検証、見直し		

## 利便増進事業の効果

### ①平均乗車密度の向上 ※平均乗車密度とは、1便あたりの平均利用者数

【現況】R3年度：6.6 ⇒ R7年度：9.1(5.4)

※( )内の数値は事業を実施しなかった場合の推計

※長崎市地域公共交通計画(R3.8)では、市全域での目標値を設定しています。平均乗車密度、収支率ともに、市全域に対し低い水準となっている東部地区で底上げすることで、市全域での目標達成に寄与します。

### ②公共交通事業の収支率の向上

R4～R7年(4年合計)：1.01(0.60)

地域間幹線系統確保維持補助金を収入に含めた値

## 策定目的・概要

◆持続可能な公共交通機関への転換

◆行政と事業者や利用者などが連携・協力

『長崎市地域公共交通計画』を策定(令和3年8月)

- 本計画は『長崎市地域公共交通計画』に定めた施策を具体的に進めるためのもの
- ※法律(地域公共交通の活性化及び再生に関する法律)に基づき策定

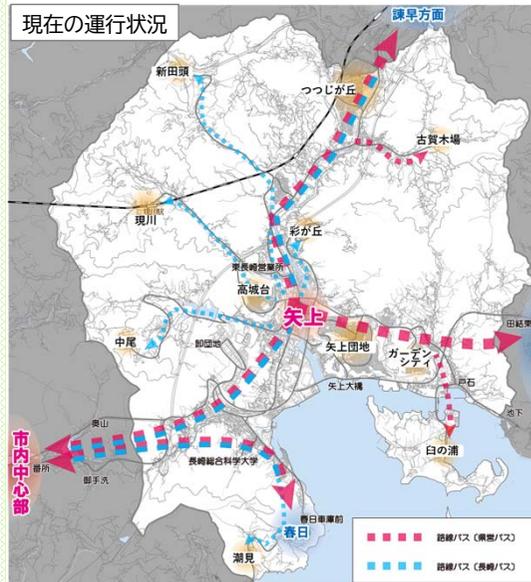
## 実施区域

長崎市東部地区(東長崎地区+日見地区)

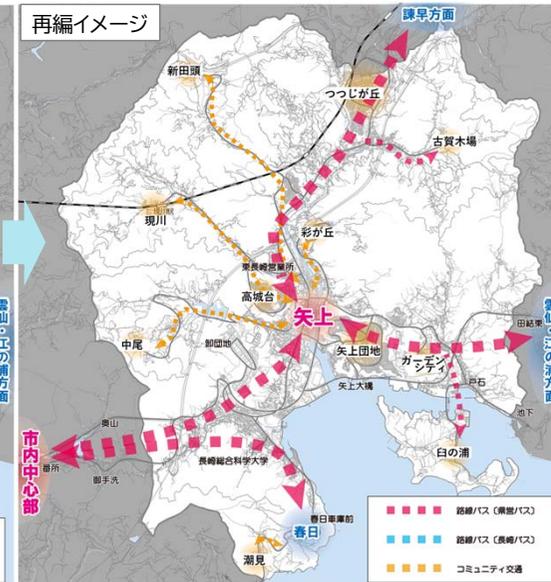
## 矢上バス停を拠点としたハブ＆スポーク型運行への再編

- 幹線路線の運行頻度の適正化
- 競合路線の解消(長崎県交通局への一本化) ※スクール便を除く
- 利用者が少ない路線のコミュニティ交通化

### 現在の運行状況

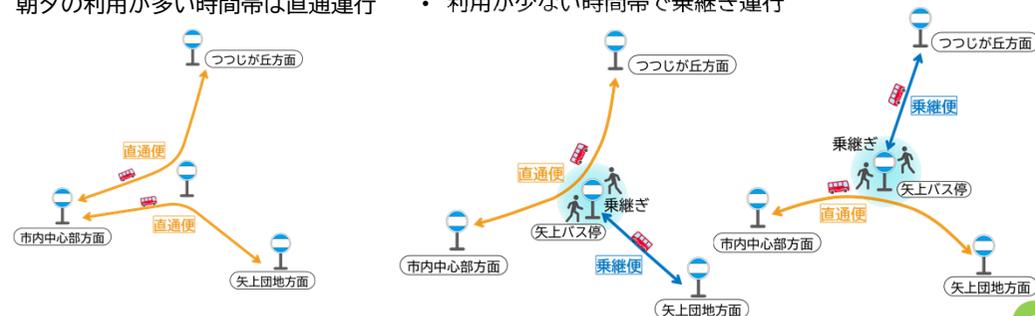


### 再編イメージ



### ハブ＆スポーク型の“運行イメージ”

- 朝夕の利用が多い時間帯は直通運行
- 利用が少ない時間帯で乗継ぎ運行



# 事業 I : 矢上バス停を拠点としたハブ&スポーク型運行への再編

## 事業 I -①: 幹線路線の運行頻度の適正化

- 通勤通学時間帯は立席含め満員(55人/便)、昼間は全員が座れる便数(30人/便)とし、運行頻度を適正化します。
- 平日昼間の時間帯も、人口規模や利用実態にあった運行頻度を確保します。

幹線路線の平日の時間帯別運行頻度の変化

### ◆ 中心部⇄東部地区間 【切通-網場道間】(矢上大橋経由除く)

時間帯	市内中心部方面			東部地区方面		
	現況 便数	計画 便数	増減	現況 便数	計画 便数	増減
朝ピーク	35	29	-6	7	8	1
昼間※	46	23	-23	40	23	-17
夕ピーク	14	12	-2	28	22	-6
深夜	7	4	-3	22	19	-3
計	102	68	-34	97	72	-25

※昼間時間帯の計画便数は60分に3本以上

### ◆ 春日方面⇄中心部間 【網場-長給大前間】

時間帯	市内中心部方面			春日車庫方面		
	現況 便数	計画 便数	増減	現況 便数	計画 便数	増減
朝ピーク	8	6	-2	4	3	-1
昼間※	16	9	-7	15	10	-5
夕ピーク	7	3	-4	7	4	-3
深夜	2	1	-1	5	5	0
計	33	19	-14	31	22	-9

※昼間時間帯の計画便数は60分に1本以上

### ◆ 東部地区⇄つつじが丘方面間 【矢上-馬場】(普賢神社口方面除く)

時間帯	東部地区方面			諫早方面		
	現況 便数	計画 便数	増減	現況 便数	計画 便数	増減
朝ピーク	18	14	-4	10	9	-1
昼間※	31	14	-17	25	15	-10
夕ピーク	11	7	-4	15	8	-7
深夜	6	4	-2	9	8	-1
計	66	39	-27	59	40	-19

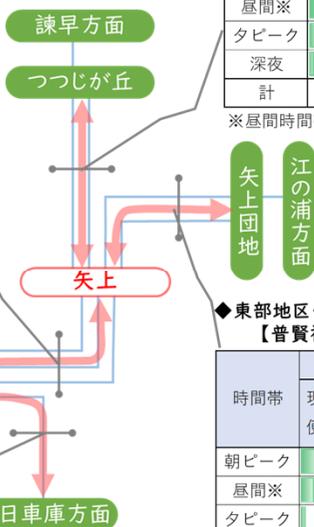
※昼間時間帯の計画便数は60分に2本以上

### ◆ 東部地区⇄矢上団地・戸石方面間 【普賢神社口-下侍石間】

時間帯	東部地区方面			江の浦方面		
	現況 便数	計画 便数	増減	現況 便数	計画 便数	増減
朝ピーク	21	19	-2	3	3	0
昼間※	16	16	0	14	14	0
夕ピーク	6	6	0	17	14	-3
深夜	3	3	0	14	11	-3
計	46	44	-2	48	42	-6

※昼間時間帯の計画便数は60分に2本以上

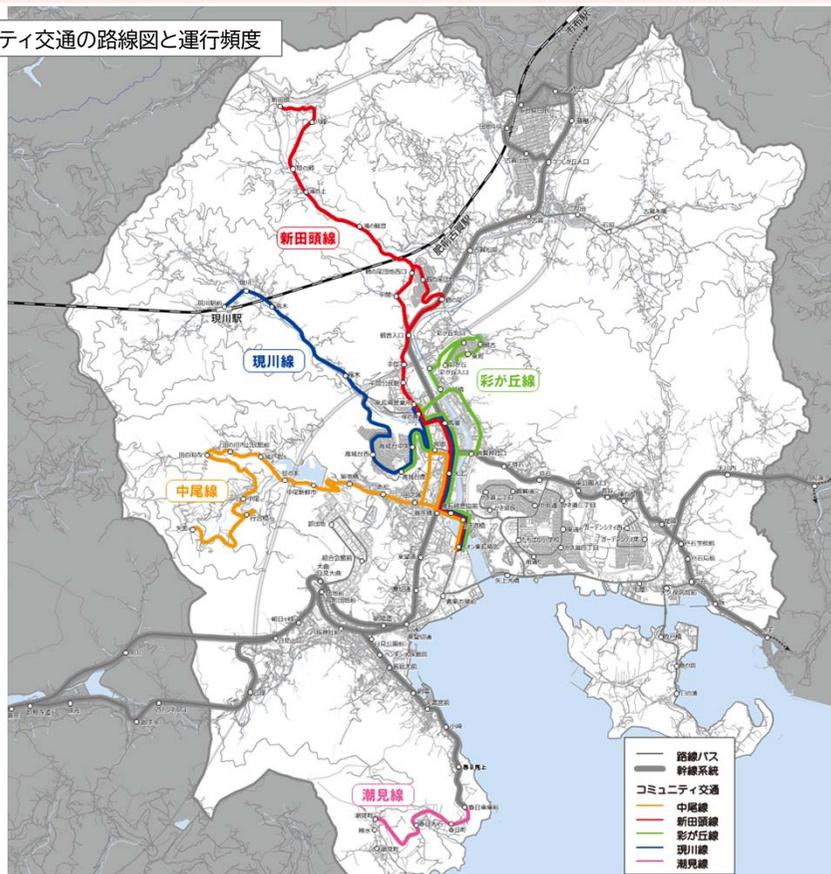
※現況便数は、令和4年4月時点  
※計画便数は、確保すべき便数  
※方面別の便数を示しており、当該断面を通っても、各方面を連絡しない便数は含まない



## 事業 I -③: コミュニティ交通への転換

- 子供たちの通学は可能な限り配慮します。
- JRともしっかり接続させ、乗継拠点や商業施設など地域内の移手段も確保します。

コミュニティ交通の路線図と運行頻度



中尾線	矢筈→イオン		イオン→矢筈		新田頭線	新田頭→イオン		イオン→新田頭		湖見線	湖見町→春日車庫		春日車庫→湖見町	
	現状	再編後	現状	再編後		現状	再編後	現状	再編後		現状	再編後	現状	再編後
平日	5便	6便	4便	5便	平日	4便	5便	3便	5便	平日	3便	3便	3便	3便
13時まで	4便	4便	1便	2便	13時まで	4便	4便	1便	2便	13時まで	3便	3便	1便	1便
13時以降	1便	2便	3便	3便	13時以降	0便	1便	2便	3便	13時以降	0便	0便	2便	2便
土曜	3便	2便	2便	2便	土曜	2便	2便	2便	2便	土曜	2便	2便	3便	2便
日祝	3便	2便	2便	2便	日祝	2便	2便	2便	2便	日祝	2便	2便	2便	2便
備考	平日朝の登校1便、夕方の下校2便は確保				備考	平日朝の登校1便、夕方の下校2便は確保				備考				
彩が丘線	彩が丘→イオン		イオン→彩が丘		現川線	現川駅前→イオン		イオン→現川駅前						
	現状	再編後	現状	再編後		現状	再編後	現状	再編後					
平日	4便	5便	8便	8便	平日	11便	10便	10便	10便					
13時まで	4便	4便	1便	0便	13時まで	6便	5便	4便	3便					
13時以降	0便	1便	7便	8便	13時以降	5便	5便	6便	7便					
土曜	2便	2便	4便	4便	土曜	11便	10便	10便	9便					
日祝	2便	2便	4便	4便	日祝	9便	10便	9便	9便					
備考	平日朝の登校2便、夕方の下校2便は確保 ※ルートは彩が丘～高城台南				備考	平日夕方の下校2便は確保 ※登校は路線バスで確保								

運行事業者: 長崎県交通局  
運賃: 長崎県交通局と同一運賃  
※現状便数は、令和4年4月時点の路線バスでの運行便数  
ただし、現川線は高城台西発着を含む昼間の便数

## 事業 I -②: 長崎県交通局への運行の一本化

- 長崎県交通局に運行一本化し、運転手や車両運用の適正化、運行コストの最小化を図ります。
- 運行間隔を一定に保つなど、利便性が確保できるダイヤに調整します。

等間隔運行による利便性を確保

